HERUTU

Remote Control Unit

RC-242　RC-248

取扱説明書 V1.00

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。必要な時にすぐにお読みいただけるように大切に保管して下さい。

内容

１．概要 1
２．本体及び付属品 2
　２－１．２点式リモコンスイッチ 【RC－242】 2
　２－２．８点式リモコンスイッチ 【RC－248】 3
　２－３．有償オプション 4
３．安全上の注意 5
４．各部の名称と働き 8
　４－１．２点式リモコンスイッチ 8
　４－２．８点式リモコンスイッチ 9
５．送信機の電池交換 10
６．受信機の設置 11
７．設定 13
　７－１．送信機の設定項目 13
　７－２．受信機の設定項目 15
　７－３．機器構成別の設定内容 18
　　７－３－１.【２点式送信機RC－242T　１台】 対 【２点式受信機RC－242R　１台】 18
　　７－３－２.【８点式送信機RC－248T　１台】 対 【８点式受信機RC－248R　１台】 19
　　７－３－３.【２点式送信機RC－242T　２台】 対 【受信機RC－242R　１台】 ※ラッチ出力のみ 20
　　７－３－４.【２点式送信機RC－242T　４台】 対 【受信機RC－248R　１台】 22
　　７－３－５.【２点式送信機RC－242T　８台】 対 【受信機RC－248R　１台】 ※ラッチ出力のみ 24
８．動作 27
　８－１.【２点式送信機RC－242T　１台】 対 【２点式受信機RC－242R　１台】 27
　８－２.【８点式送信機RC－248T　１台】 対 【８点式受信機RC－248R　１台】 28
　８－３.【２点式送信機RC－242T　２台】 対 【受信機RC－242R　１台】 ※ラッチ出力のみ 29
　８－４.【２点式送信機RC－242T　４台】 対 【受信機RC－248R　１台】 30
　８－５.【２点式送信機RC－242T　８台】 対 【受信機RC－248R　１台】 ※ラッチ出力のみ 31
９．ご利用上の注意 32
１０．仕様 33
１１．寸法図 36
１２．故障と思う前に 38
１３．保証とアフターサービス 39

1. 概要

RC－242及びRC－248は、2．4GHz帯無線を使用した2点式・8点式のリモートコントロールスイッチです。
RC－242は、2点式送信機「RC－242T」と2点式受信機「RC－242R」で使用します。
RC－248は、8点式送信機「RC－248T」と8点式受信機「RC－248R」で使用します。
また、2点式送信機「RC－242T」最大8台と8点式受信機「RC－248R」の組み合わせで使用することもできます。

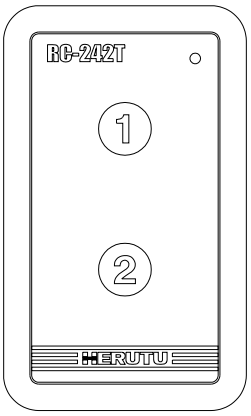
＜特徴＞

◆信頼性の高い通信を行います。
　2．4GHz帯　64chの周波数を16グループに分け、任意の1グループを設定して通信を行います。
　1グループにはそれぞれ分散した4chが割り当てられており、自動でチャンネル選択をして通信を行います。
　（周波数ホッピング機能）
　アンサーバックモードで使用する際には、双方向通信により確実に信号を無線伝送します。
　（送信機のLEDにより通信OK／NGの確認可能。）
◆送信機は単4形乾電池×2本を使用します。（アルカリ乾電池）
◆送信機には破損や汚れを防ぐための保護カバーが添付します。
（本製品は防滴・防水仕様ではありません。）
◆受信機本体の電源はDC24Vです。付属のACアダプタを使用することによりAC100～240Vで使用できます。
◆通信距離は、屋内約20m、屋外約50m程度です。
　通信距離は使用環境により異なります。また、本製品の使い方（ラッチ出力／スルー出力、アンサーバックあり／なし）
　により異なります。上記数値は目安であり保証値ではありません。
　デモ機をご用意しておりますので、事前の通信テスト等を行っていただくことをお奨めいたします。

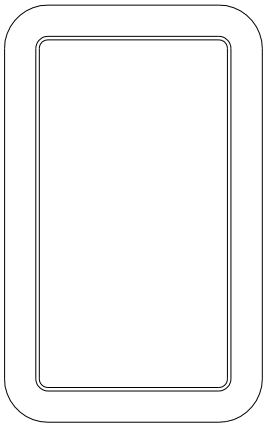
2. 本体及び付属品

2－1. 2点式リモコンスイッチ 【RC－242】

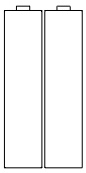
送信機【RC－242T】



RC－242T 本体 ×1



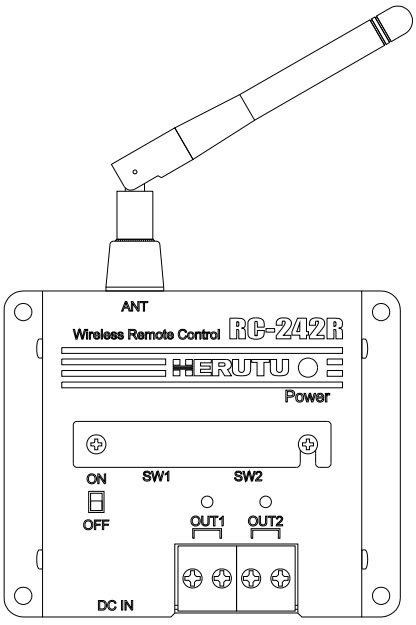
専用カバー



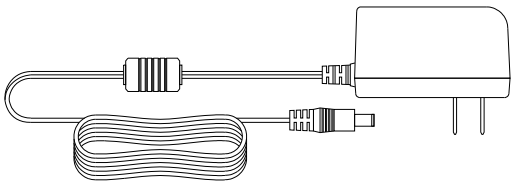
単4形アルカリ乾電池×2本

※出荷時は、本体に電池とカバーがセットされた状態で出荷されます。

受信機【RC－242R】



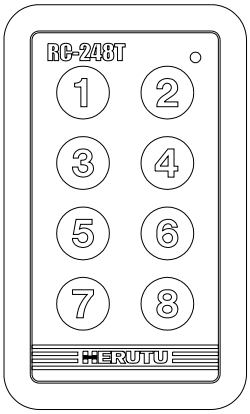
RC－242R本体 ×1



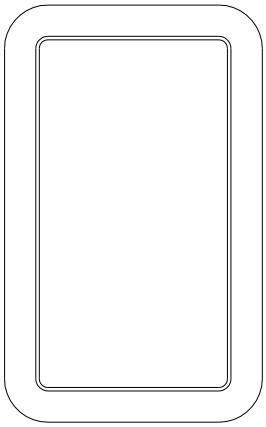
ACアダプタ【ADB24050】 ×1個

2－2. 8点式リモコンスイッチ 【RC－248】

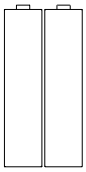
送信機【RC－248T】



RC－248T 本体 ×1



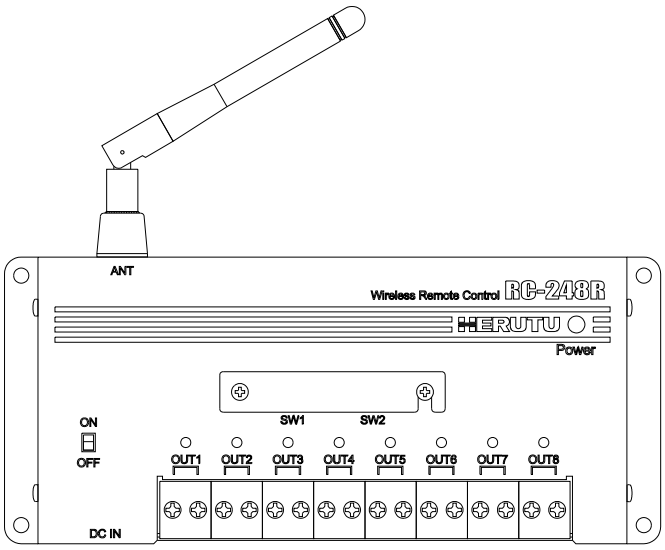
専用カバー



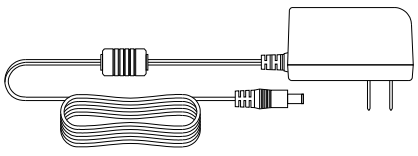
単4形アルカリ乾電池×2本

※出荷時は、本体に電池とカバーがセットされた状態で出荷されます。

受信機【RC－248R】



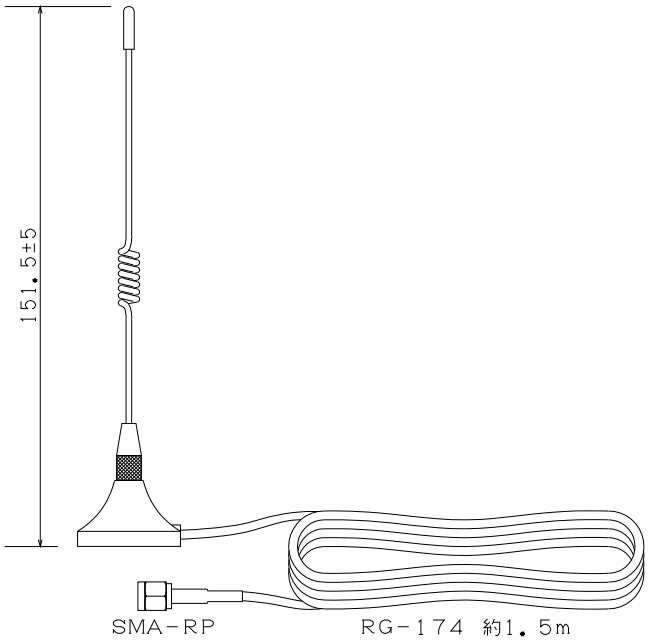
RC－248R本体 ×1



ACアダプタ【ADB24050】 ×1個

2－3. 有償オプション

・外部アンテナ　MB－13F－2（マグネットベース付き／同軸ケーブル約1．5m）



3. 安全上の注意

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

⚠注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■本機の取り扱いについて

●本機は、精密部品で作られた無線通信機器です。分解・改造はしないで下さい。事故や故障の原因となります。 禁止

■使用環境及び保管環境について

●下記の場所での使用及び保管は故障や誤動作、特性劣化、火災・感電の原因となることがありますので避けて下さい。 禁止

・直射日光のあたる場所での使用及び保管
・製品内に液体や異物、腐食性ガスか可燃性ガスが入る可能性のある場所での使用及び保管
・湿気の高い所や油煙、ほこり、砂などの多い場所での使用及び保管
・ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所での使用
・振動のある場所での使用

⚠警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■ 本機の取り扱いについて

●人命にかかわるような極めて高い信頼性を要求される用途には、ご使用にならないで下さい。 禁止

●電波が届くか届かない曖昧な範囲ではご使用にならないで下さい。 禁止

■ACアダプタの取り扱いについて

ACアダプタの発熱、破損、発火などの事故防止のため、次のことは必ずお守り下さい。

●ACアダプタを火に近づけたり、火の中に入れないで下さい。電源コードが破裂・発火して事故の原因になります。	禁止
●ACアダプタ・本体は、破損・発火事故防止のため、指定された電源電圧以外では使用しないで下さい。	禁止
●濡れやすい場所で、本体を使用しないで下さい。発熱・発火・感電などの事故や故障の原因となります。	禁止
●濡れた手で本体・電源コード・電源入力端子台に触れないで下さい。感電などの事故の原因となります。	禁止
●ACアダプタの電源コードを破損させないで下さい。ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。	禁止
●電源入力端子台にほこりが付着したままで使用しないで下さい。ショートや発熱により火災や感電の原因になります。	禁止
●ACアダプタの電源コードに強い衝撃を与えないで下さい。 事故や故障の原因になることがあります。	禁止
●ACアダプタの変形などに気づいたら使用しないで下さい。 事故や故障の原因になることがあります。	禁止
●引火性ガスが発生する場所では、本体を使用しないで下さい。発火事故などの原因になります。	禁止
●絶対に本体を分解しないで下さい。 事故や故障の原因になることがあります。	禁止

■使用中に異常が発生したときは

火災・感電等の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は弊社に修理を依頼して下さい。

●煙が出たり、変なにおいがするときは使用を中止し、本体への電源供給を止めて販売店又は弊社に修理を依頼して下さい。	注意喚起
●ACアダプタの電源コードや本体の電源スイッチが傷んだら使用しないで下さい。 そのまま使用すると火災や感電の原因になります。	禁止

■無線の電波法についてのご注意

〇当該機器には電波法に基づく技術基準適合証明等を受けた特定無線設備を装着しています。したがって、本製品の使用に際しては、無線局の免許は必要ありません。

〇本製品を使用できるのは、日本国内に限られます。

〇心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本製品を使用しないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害をおよぼして、生命の危険があります。

〇医療機器の近くで本製品を使用しないでください。医療機器に電磁妨害をおよぼして、生命の危険があります。

〇電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。電子レンジによって本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

〇本製品に搭載されている無線モジュールは、アンテナおよびアンテナ接続ケーブル一式で認証を取得しています。よって、認証取得済み以外のアンテナや接続ケーブル（お客様にて用意されたアンテナおよび接続ケーブル）を使用することは電波法で禁じられています。

■2．4GHz無線の電波干渉についてのご注意

2．4GHz帯の無線製品で通信を行うときは、次のことがらに注意してください。

〇この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を必要とする無線局）および特定小電力無線局（免許を必要としない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を必要とする無線局）が運用されています。

〇この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

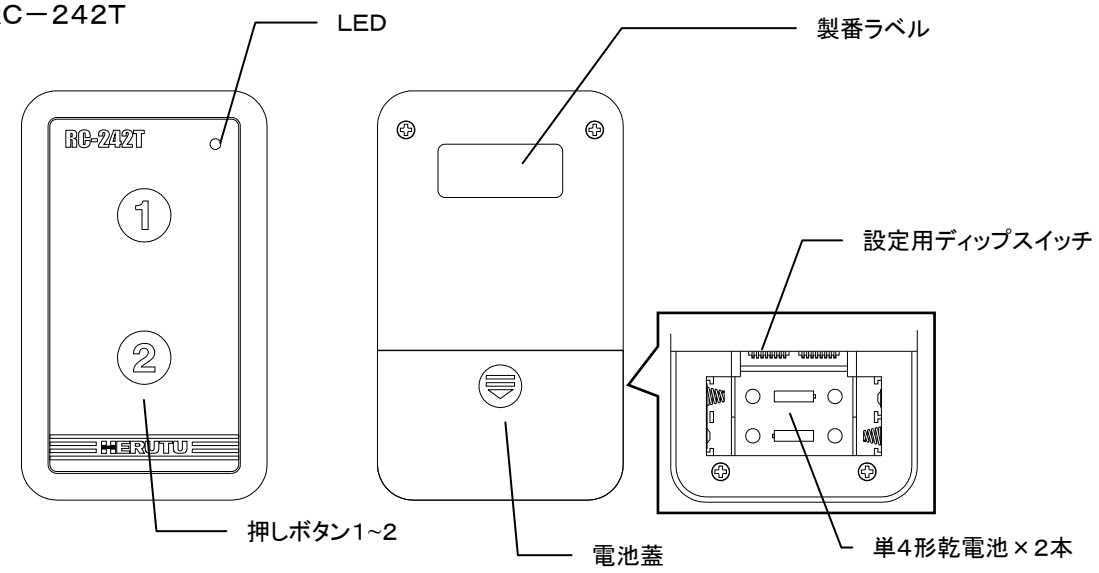
〇万一、この機器から他無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにご使用をお止めいただき混信回避のための対処等についてご相談ください。

〇その他、この機器からの移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社へお問い合わせください。

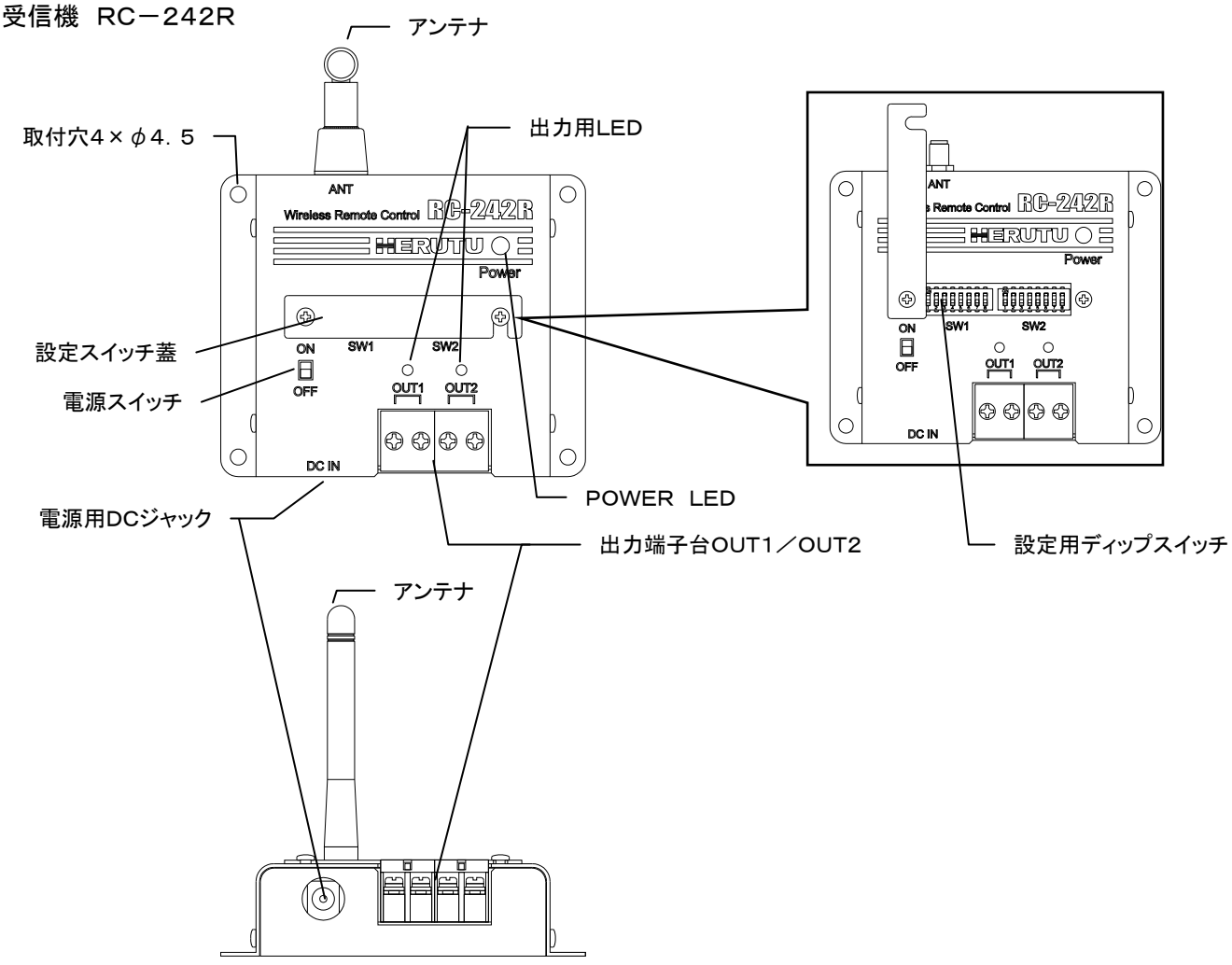
4. 各部の名称と働き

4－1. 2点式リモコンスイッチ

●送信機 RC－242T

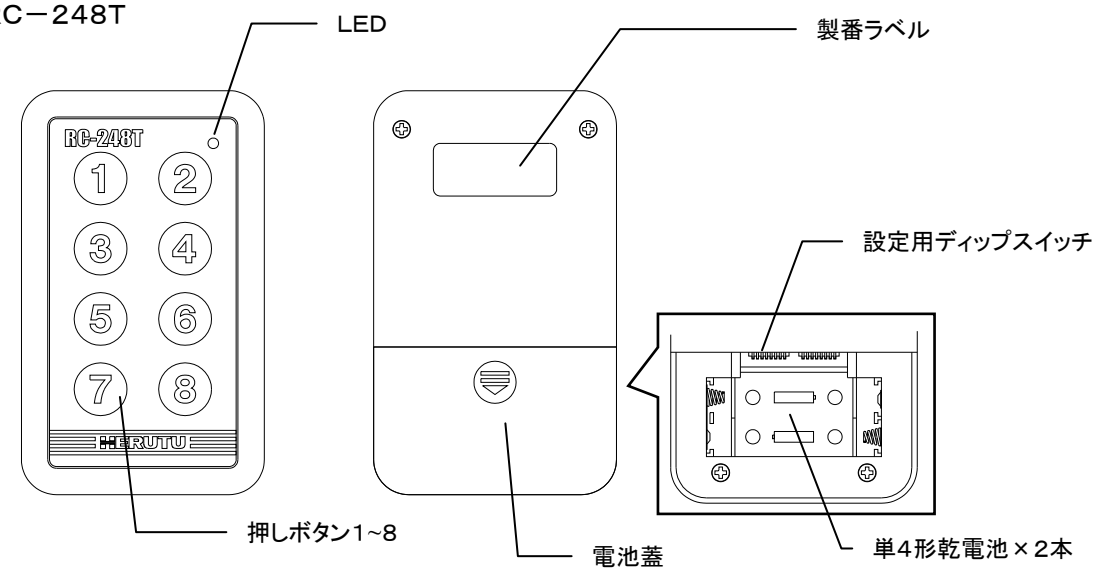


●受信機 RC－242R

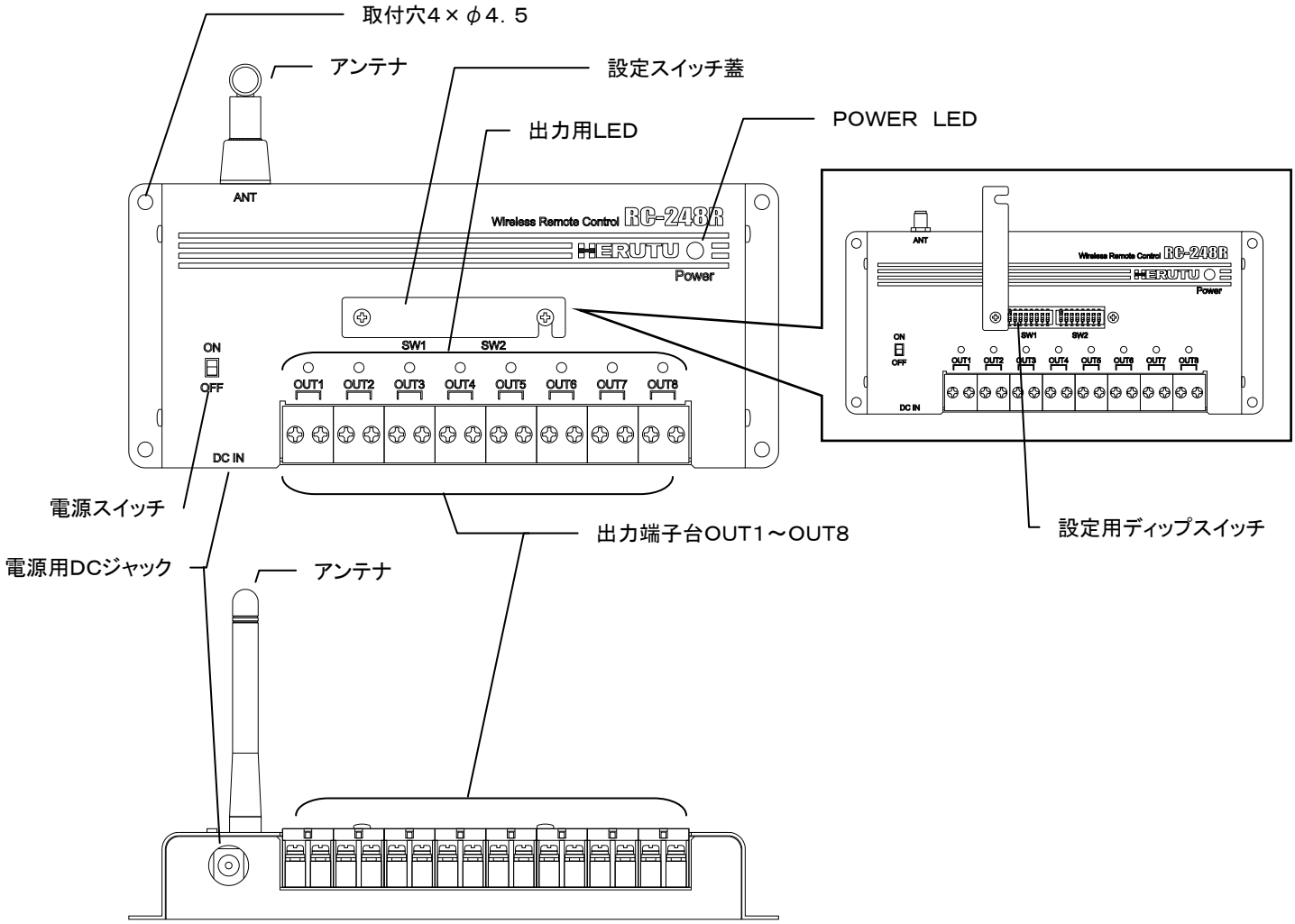


4－2．8点式リモコンスイッチ

●送信機 RC－248T



●受信機 RC－248R



5. 送信機の電池交換

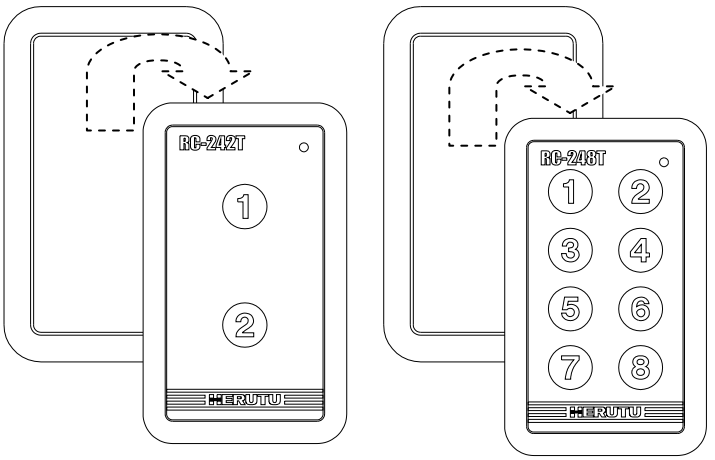
送信機RC－242TとRC－248Tは、単4形乾電池2本を使用します。

（出荷時に単4形アルカリ乾電池2本がセットされています。）

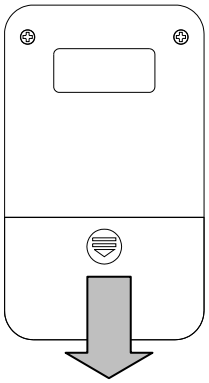
電池が一定電圧以下になると、押しボタンを押した際に赤色LEDが2回点滅し同時にブザーも2回鳴りますので、単4形乾電池を2本とも新しいものと交換してください。

●電池の交換方法

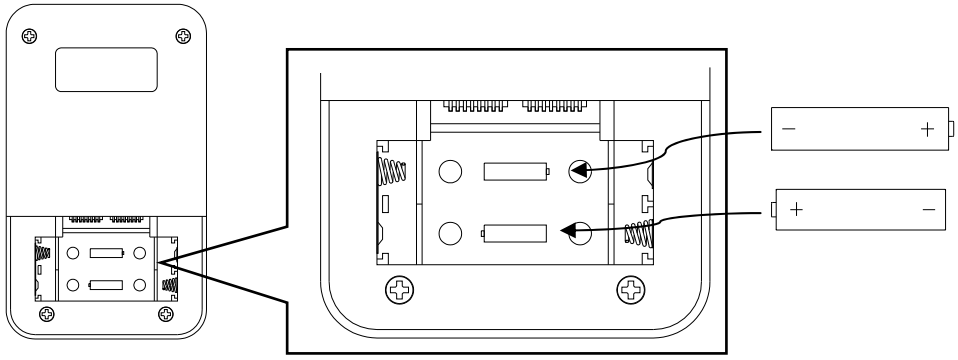
①送信機をカバーから外し、背面の電池蓋を外します。



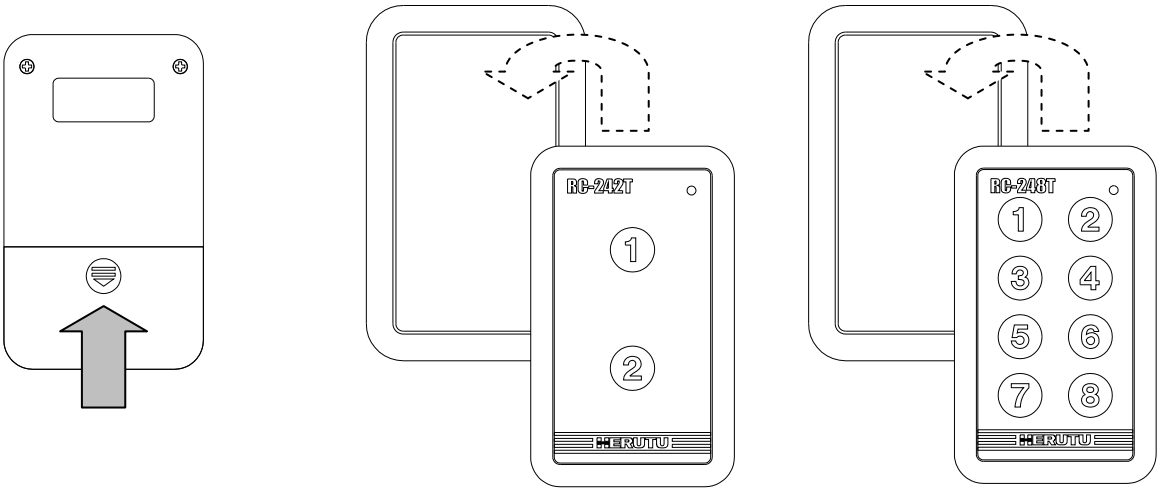
電池蓋のマーク部分（ ）を軽く押しながら下に押し下げると電池蓋が外れます。



②電池ケースの極性表示（－，＋）に合わせて乾電池を入れます。



③電池蓋を閉めます。付属の専用カバーを取り付けます。



6. 受信機の設置

①受信機は送信機から見通しが良く、電波を安定して受信できる位置に設置して下さい。

②アンテナは金属物と平行にならないように離して設置して下さい。

③付属のACアダプタを使用し、変動の少ない安定した電源（AC100V～AC240V）を供給して下さい。

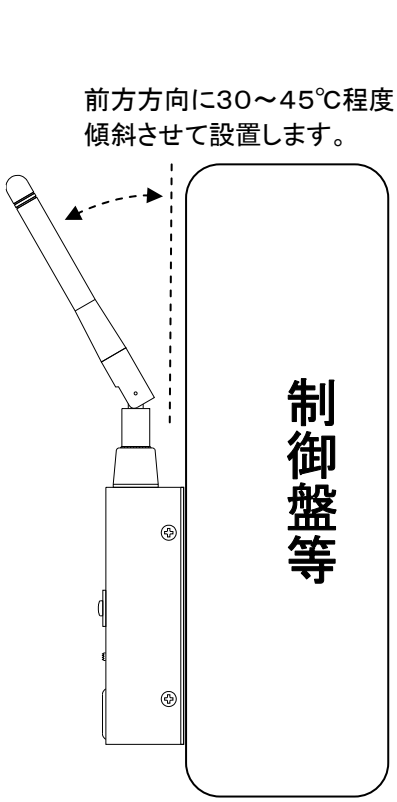
④出力端子台に配線をして下さい。

出力はリレー接点で、出力ONで各端子間が短絡状態となります。

接点定格負荷を超えた場合、内部回路が破損する場合がありますので十分ご注意下さい。

端子台	**M3（2極）**
定格負荷電圧	**AC／DC30V**
定格負荷電流	**0．5A**
接点構造／構成	**MOS－FET／1a**

受信機のアンテナは、アンテナ周囲に障害物がないように設置を行ってください。



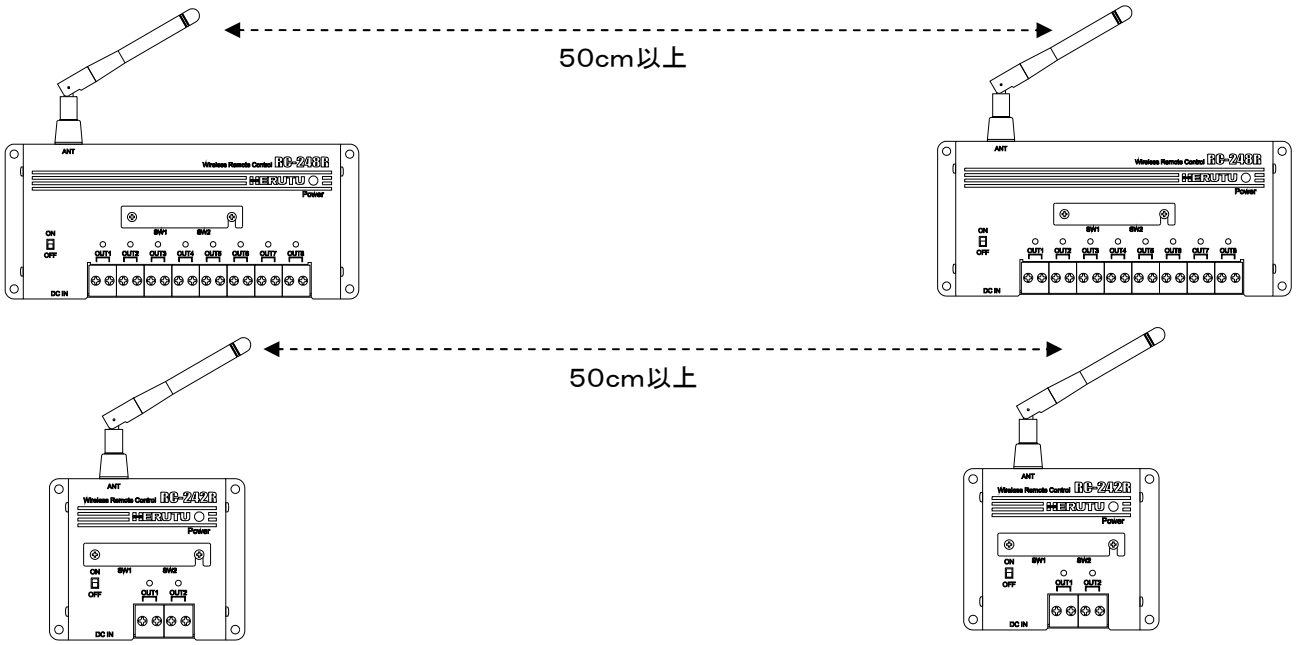
受信機を制御盤内（金属素材）等に設置する場合は、アンテナが盤外に出るように設置するか、有償オプション（P4）の外部アンテナをご利用下さい。

受信機のアンテナ部分が金属素材で覆われてしまうと通信距離が著しく短くなりますので、ご注意下さい。

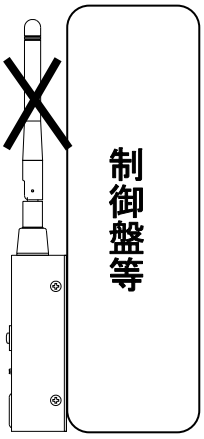
金属素材を含まない樹脂製のケースに受信機を内蔵する場合も通信ができることを確認後、設置していただくようにして下さい。

また、1つの制御盤等に2台以上内蔵することは避けて下さい。

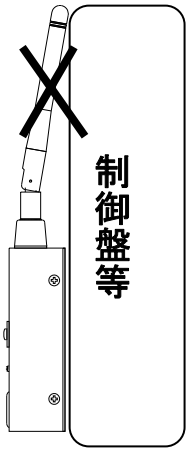
2台以上の受信機を並べて設置する場合は、少なくともアンテナ同士が50cm以上離れるように設置して下さい。



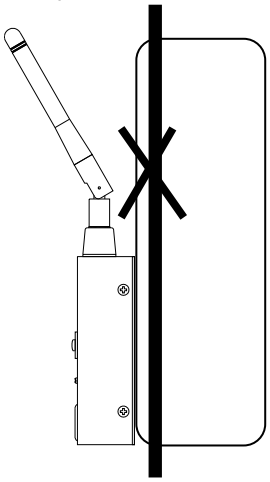
下記のような設置はしないでください。



背面の制御盤（金属物）と
アンテナが平行になっている



アンテナが制御盤（金属物）に接触している



動力線のすぐ近くに設置される

7. 設定

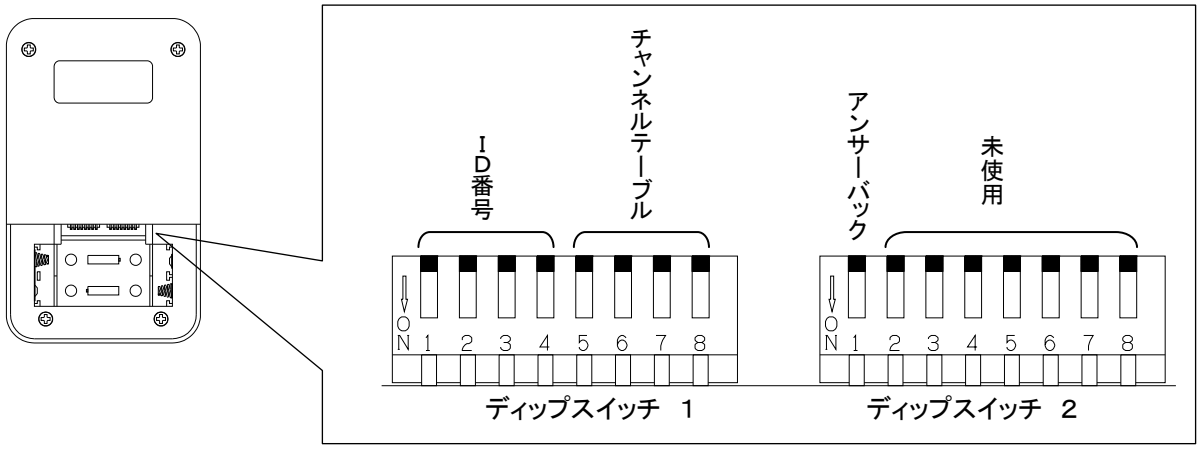
本機は使用する機器構成により送信機と受信機にいくつかの設定を行う必要があります。

設定は送信機・受信機のディップスイッチで行います。

受信機の設定変更は必ず電源をOFFにして行って下さい。電源ONのままでは設定は変更されません。

7－1. 送信機の設定項目

送信機　設定用ディップスイッチ



※送信機のディップスイッチ下げるとONです。
（受信機は上げるとONです。間違えないようにご注意下さい。）

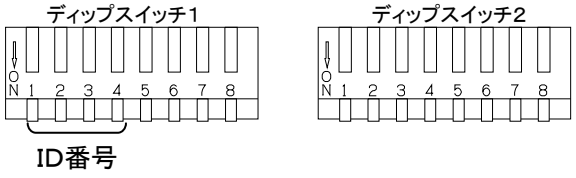
■ID番号

1～16のいずれかのID番号を設定できます。

【送信機1台　対　受信機1台】で使用する場合には、受信機と同じID番号を設定して使用します。

【送信機N台　対　受信機1台】で使用する場合には、ID番号により出力する場所（OUT1～OUT8）を割り付けます。

【送信機の設定】



ID 番号	ディップスイッチ1 1～4	ID 番号	ディップスイッチ1 1～4
1		9	
2		10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	

＜注意＞
ディップスイッチを設定する時は精密ドライバーのマイナスタイプ等を使用して行ってください。ディップスイッチは小型タイプのため、壊れやすい部品です。無理に力を加えて作業を行なうと破損の恐れがありますのでご注意下さい。

出荷時設定
特別指示が無い場合、ID番号は“1”に設定されています。

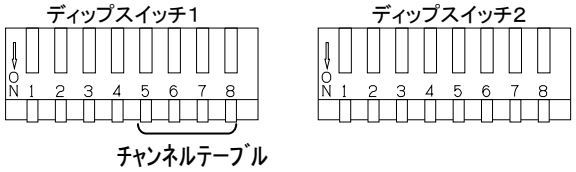
■チャンネルテーブル

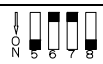
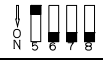
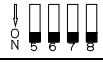
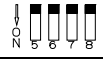
1～16のいずれかのチャンネルグループを設定できます。

1つのチャンネルテーブルにはそれぞれ4つの周波数が割り当てられています。送信機と受信機はチャンネルテーブル内の4つの周波数から随時自動選択して通信を行います。

【送信機1台　対　受信機1台】で使用する場合も、【送信機N台　対　受信機1台】で使用する場合も、送信機と受信機は同じチャンネルテーブルに設定します。

【送信機の設定】



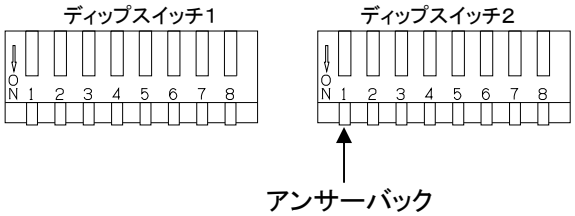
チャンネル	ディップスイッチ1 5～8	チャンネル	ディップスイッチ1 5～8
1		9	
2		10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	

出荷時設定
特別指示が無い場合、チャンネルテーブルは
“1”に設定されています。

■アンサーバック

受信機からのアンサーバックを受けられる双方向通信仕様と受信機からのアンサーバックを受けない片方向通信仕様のいずれかを設定できます。送信機の動作に対して受信機の動作が直接確認できないような状況で、アンサーバックを”ON”設定にすることにより、送信機のLED点灯状況で通信の確認ができます。

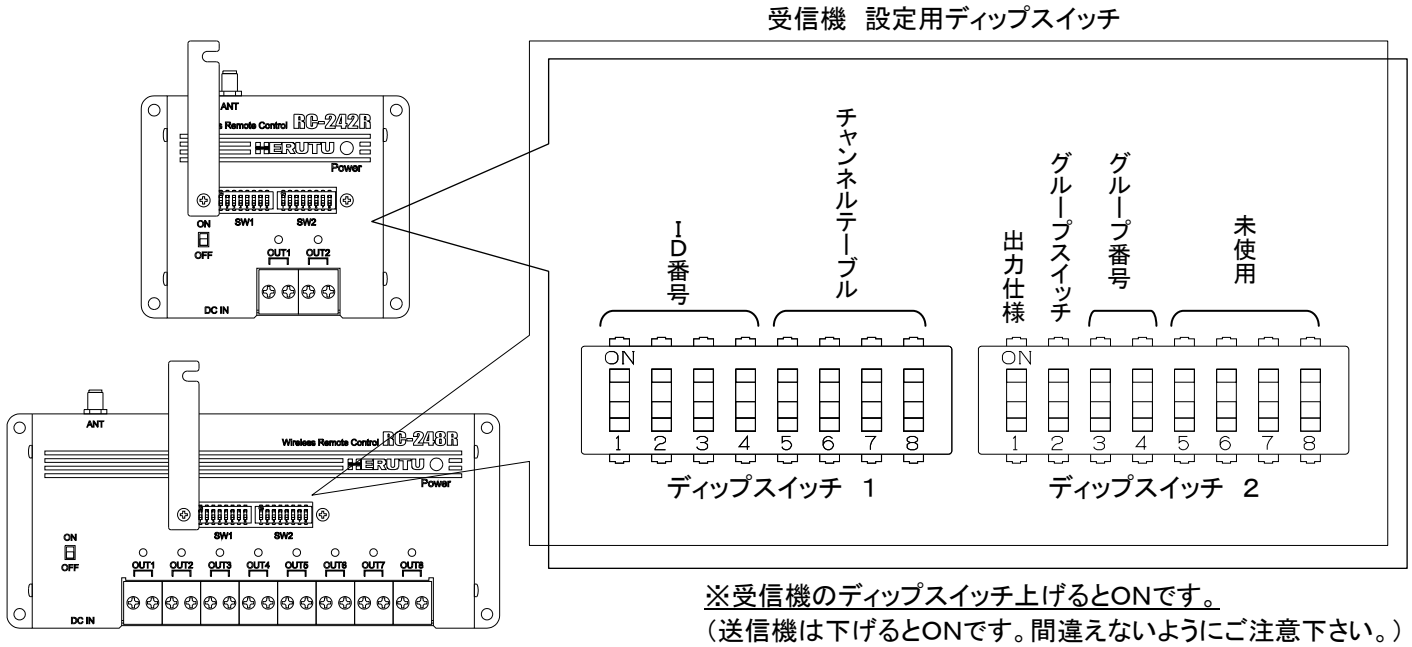
【送信機の設定】



アンサーバック	ディップスイッチ2 1
アンサーバックあり	ON
アンサーバックなし	OFF

出荷時設定
特別指示が無い場合、アンサーバックは “なし” に設定されています。

7－2. 受信機の設定項目



※受信機のディップスイッチ上げるとONです。
（送信機は下げるとONです。間違えないようにご注意下さい。）

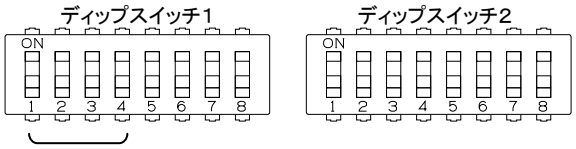
■ID番号

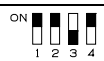
1～16のいずれかのID番号を設定できます。

【送信機1台　対　受信機1台】で使用する場合には、同じID番号を設定して使用します。

【送信機N台　対　受信機1台】で使用する場合には、ID番号は未使用となります。

【受信機の設定】



ID 番号	ディップスイッチ1 1～4	ID 番号	ディップスイッチ1 1～4
1		9	
2		10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	

＜注意＞
ディップスイッチを設定する時は精密ドライバーのマイナスタイプ等を使用して行ってください。
ディップスイッチは小型タイプのため、壊れやすい部品です。無理に力を加えて作業を行なうと破損の恐れがありますのでご注意下さい。

出荷時設定
特別指示が無い場合、ID番号は“1”に設定されています。

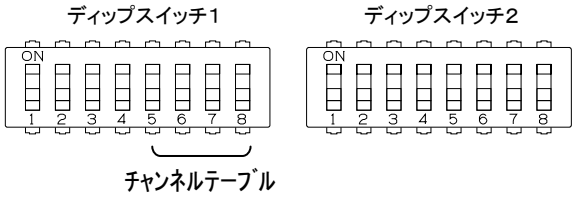
■チャンネルテーブル

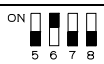
1～16のいずれかのチャンネルグループを設定できます。

1つのチャンネルテーブルにはそれぞれ4つの周波数が割り当てられています。送信機と受信機はチャンネルテーブル内の4つの周波数から随時自動選択して通信を行います。

【送信機1台　対　受信機1台】で使用する場合も、【送信機N台　対　受信機1台】で使用する場合も、送信機と受信機は同じチャンネルテーブルにする必要があります。

【受信機の設定】



チャンネル	ディップスイッチ1 5～8	チャンネル	ディップスイッチ1 5～8
1		9	
2		10	
3		11	
4		12	
5		13	
6		14	
7		15	
8		16	

出荷時設定

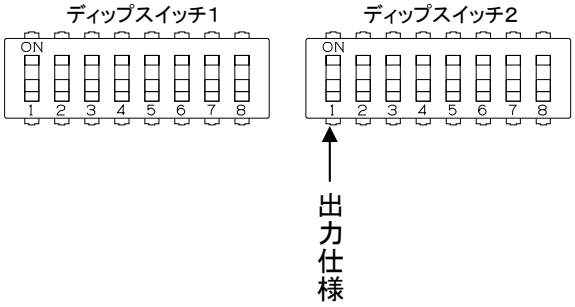
特別指示が無い場合、チャンネルテーブルは“1”に設定されています。

■出力仕様

受信機からの出力をスルー出力／ラッチ出力のいずれかに設定できます。

出力仕様は受信機のディップスイッチで設定します。

【受信機の設定】



出力仕様	ディップスイッチ2 1
スルー出力	ON
ラッチ出力	OFF

出荷時設定

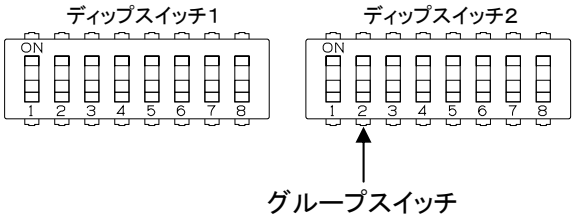
特別指示が無い場合、出力仕様は “ラッチ出力” に設定されています。

■グループスイッチ

送信機N台と受信機1台で使用する場合に本スイッチを“ON”に設定します。

送信機1台　対　受信機1台で使用する場合は、本スイッチは“OFF”に設定します。

【受信機の設定】



グループスイッチ	ディップスイッチ2 2
グループスイッチON	ON
グループスイッチOFF	OFF

出荷時設定

特別指示が無い場合、グループスイッチは “OFF” に設定されています。

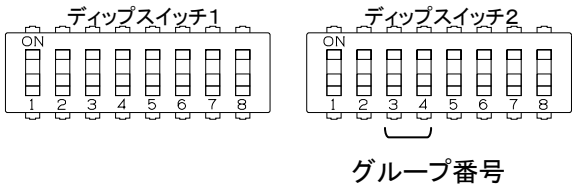
■グループ番号

送信機N台と受信機1台で使用する場合に1～4のいずれかのグループに設定します。

（送信機1台　対　受信機1台で使用する場合は、グループ設定は不要です。）

グループを使用する場合（送信機N台と受信機1台で使用する場合）には、グループスイッチをONにします。

【受信機の設定】



グループ 番号	ディップスイッチ2 3～4
1	
2	
3	
4	

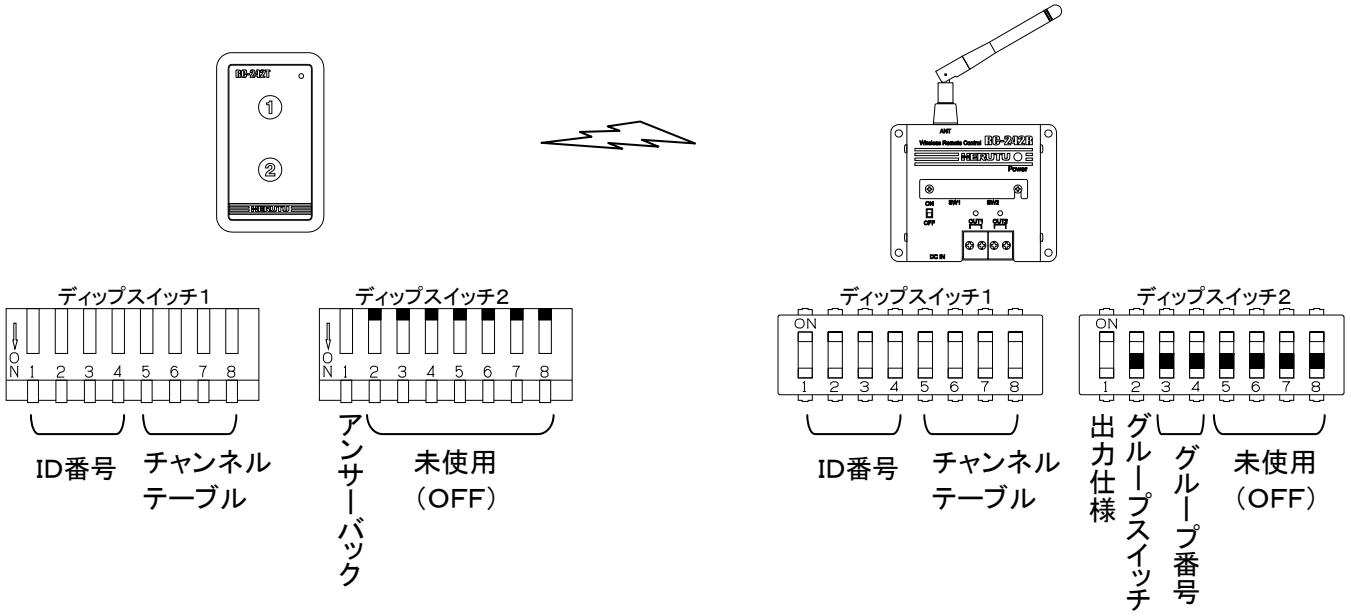
※出力仕様をラッチ出力で使用する場合には、グループ番号は“1”と“2”のみ使用します。“3”と“4”は未使用となります。

出荷時設定

特別指示が無い場合、グループ番号はグループスイッチ設定が “OFF” に設定されているため、無効となります。

7－3. 機器構成別の設定内容

7－3－1.【2点式送信機RC－242T 1台】 対 【2点式受信機RC－242R 1台】



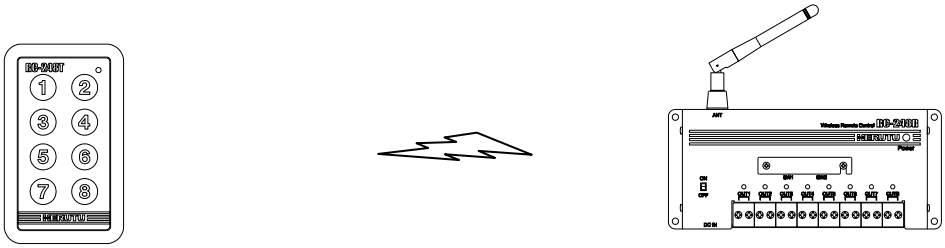
送信機の設定

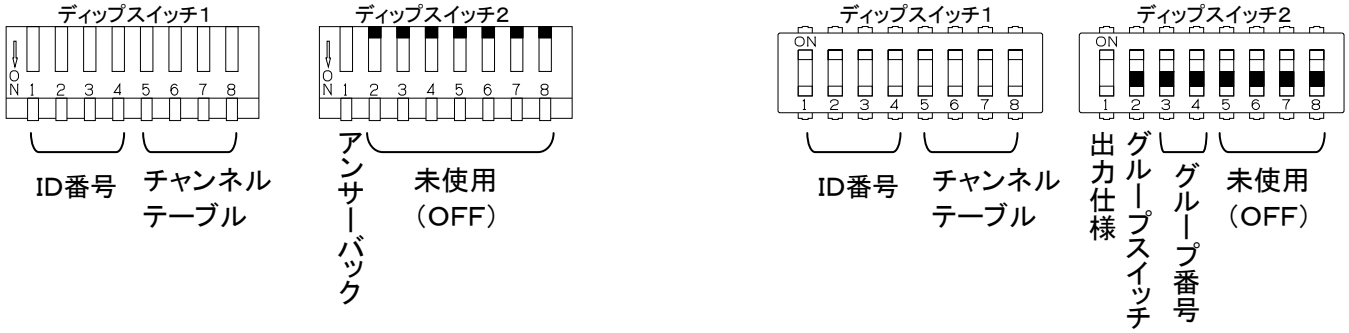
ディップスイッチ		設定項目	送信機 RC－242T
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	1～16のいずれかに設定して下さい。 受信機と同じ設定にして下さい。
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定して下さい。 受信機と同じ設定にして下さい。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	ON:アンサーバックあり OFF:アンサーバックなし
	2～8	未使用	ALL OFFとして下さい。

受信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC－242T
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	1～16のいずれかに設定して下さい。 送信機と同じ設定にして下さい。
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定して下さい。 送信機と同じ設定にして下さい。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	ON:スルー出力 OFF:ラッチ出力
	2	グループスイッチ	OFF
	3	グループ番号	OFF
	4		OFF
	5～8	未使用	ALL OFFとして下さい。

7－3－2.【8点式送信機RC－248T 1台】 対 【8点式受信機RC－248R 1台】





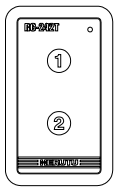
送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	送信機 RC－248T
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	1～16のいずれかに設定して下さい。 受信機と同じ設定にして下さい。
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定して下さい。 受信機と同じ設定にして下さい。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	ON:アンサーバックあり OFF:アンサーバックなし
	2～8	未使用	ALL OFFとして下さい。

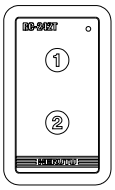
受信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC－248R
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	1～16のいずれかに設定して下さい。 送信機と同じ設定にして下さい。
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定して下さい。 送信機と同じ設定にして下さい。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	ON:スルー出力 OFF:ラッチ出力
	2	グループスイッチ	OFF
	3	グループ番号	OFF
	4		OFF
	5～8	未使用	ALL OFFとして下さい。

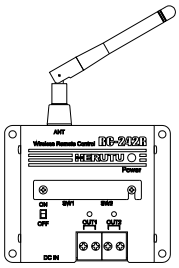
7－3－3.【2点式送信機RC－242T 2台】 対 【受信機RC－242R 1台】 ※ラッチ出力のみ



送信機A

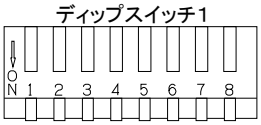


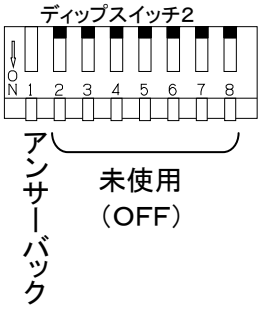
送信機B

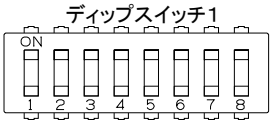


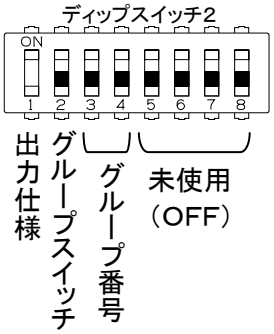
送信機Aの信号は、受信機OUT1に対応
（ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF）

送信機Bの信号は、受信機OUT2に対応
（ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF）









送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	送信機 RC－248T
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	別表の受信機のグループに対応した 設定にして下さい
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定して下さい。 受信機と同じ設定にして下さい。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	ON:アンサーバックあり OFF:アンサーバックなし
	2～8	未使用	ALL OFFとして下さい。

受信機の設定

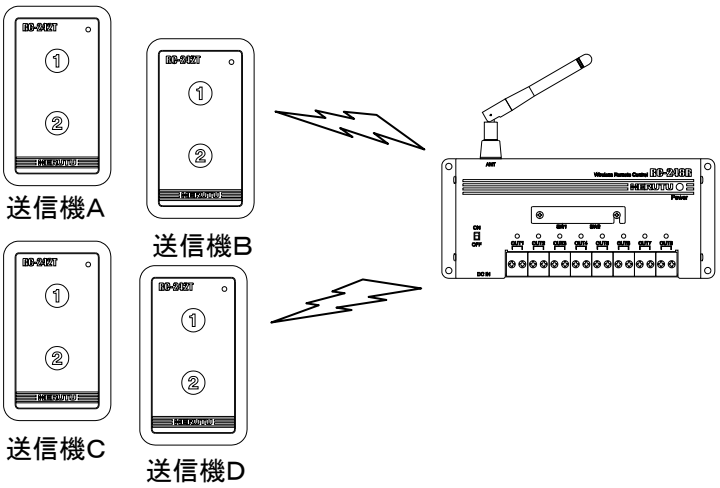
ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC－248R
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	未使用 設定は無効となります。
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定して下さい。 送信機と同じ設定にして下さい。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	OFF （ラッチ出力）
	2	グループスイッチ	ON
	3	グループ番号	1、2のいずれかに設定して下さい。 ※グループ番号により受信できる 送信機のID番号が決定します。
	4		
	5～8	未使用	ALL OFF

受信機のグループ番号に対応する出力と送信機のID番号

グループ番号	送信機 ID番号	送信機押しボタン	受信機RC－242R 出力
1	1	①	OUT1 出力ON
		②	OUT1 出力OFF
1	2	①	OUT2 出力ON
		②	OUT2 出力OFF
2	9	①	OUT1 出力ON
		②	OUT1 出力OFF
2	10	①	OUT2 出力ON
		②	OUT2 出力OFF

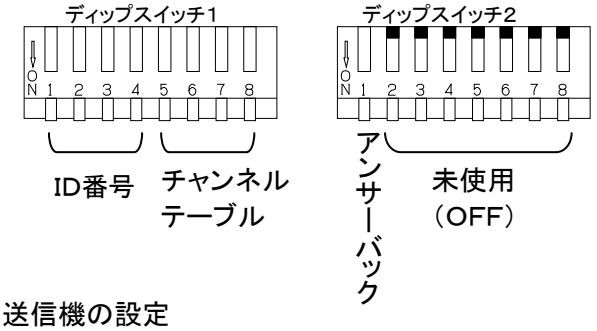
※出力仕様をラッチ出力で使用する場合には、グループ番号は“1”と“2”のみ使用します。“3”と“4”は未使用となります。

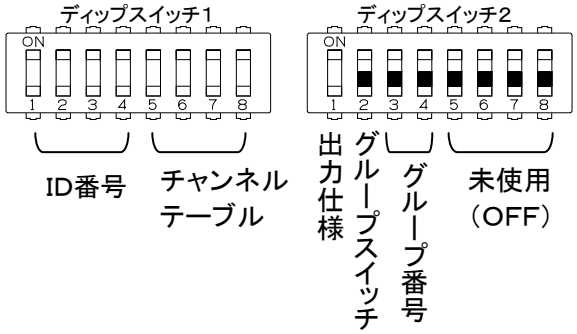
7－3－4.【2点式送信機RC－242T 4台】 対 【受信機RC－248R 1台】



■スルー出力の場合
送信機Aの信号は、受信機OUT1／OUT2に対応
（ボタン1でOUT1、ボタン2でOUT2が押している間出力ON）
送信機Bの信号は、受信機OUT3／OUT4に対応
（ボタン1でOUT3、ボタン2でOUT4が押している間出力ON）
送信機Cの信号は、受信機OUT5／OUT6に対応
（ボタン1でOUT5、ボタン2でOUT6が押している間出力ON）
送信機Aの信号は、受信機OUT7／OUT8に対応
（ボタン1でOUT7、ボタン2でOUT8が押している間出力ON）

※ラッチ出力については次項をお読みください。





送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	送信機 RC－242T
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	別表の受信機のグループに対応した 設定にして下さい
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定して下さい。 受信機と同じ設定にして下さい。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	ON：アンサーバックあり OFF：アンサーバックなし
	2～8	未使用	ALL OFFとして下さい。

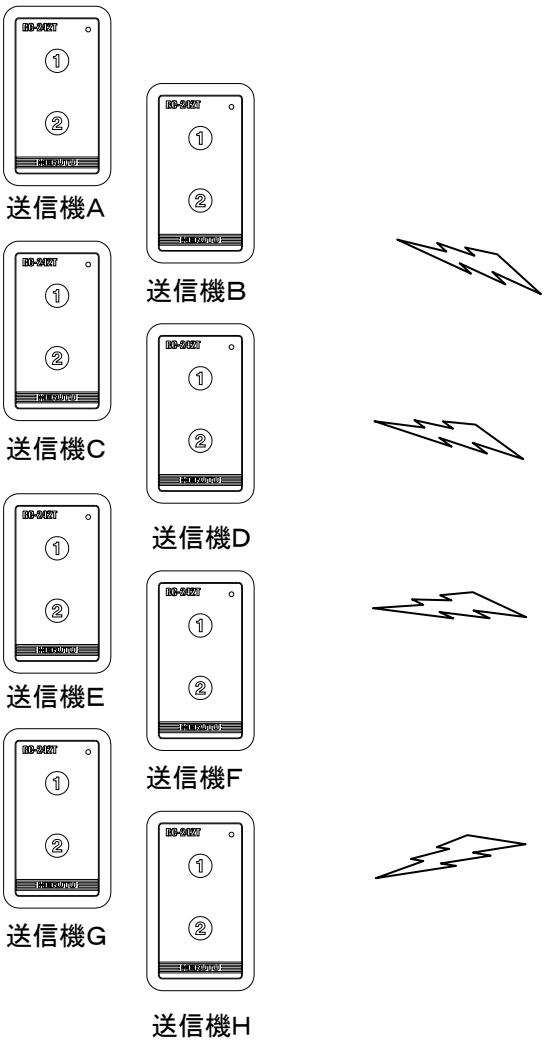
受信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC－248R
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	未使用 設定は無効となります。
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定して下さい。 送信機と同じ設定にして下さい。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	ON （スルー出力）
	2	グループスイッチ	ON
	3	グループ番号	1～4のいずれかに設定して下さい。 ※グループ番号により受信できる 送信機のID番号が決定します。
	4		
	5～8	未使用	ALL OFF

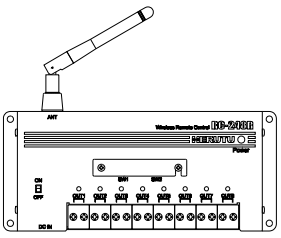
受信機のグループ番号に対応する出力と送信機のID番号

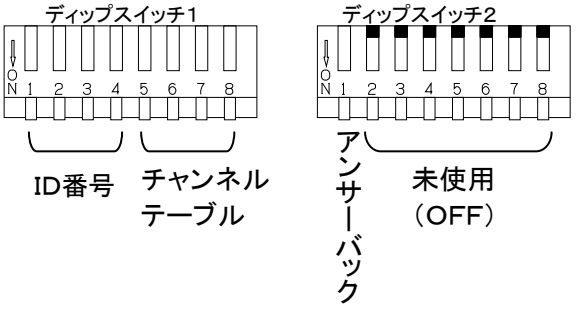
受信機の グループ番号	送信機 ID番号	送信機押しボタン	受信機RC－248R 出力
1	1	①	OUT1 出力ON
		②	OUT2 出力ON
1	2	①	OUT3 出力ON
		②	OUT4 出力ON
1	3	①	OUT5 出力ON
		②	OUT6 出力ON
1	4	①	OUT7 出力ON
		②	OUT8 出力ON
2	5	①	OUT1 出力ON
		②	OUT2 出力ON
2	6	①	OUT3 出力ON
		②	OUT4 出力ON
2	7	①	OUT5 出力ON
		②	OUT6 出力ON
2	8	①	OUT7 出力ON
		②	OUT8 出力ON
3	9	①	OUT1 出力ON
		②	OUT2 出力ON
3	10	①	OUT3 出力ON
		②	OUT4 出力ON
3	11	①	OUT5 出力ON
		②	OUT6 出力ON
3	12	①	OUT7 出力ON
		②	OUT8 出力ON
4	13	①	OUT1 出力ON
		②	OUT2 出力ON
4	14	①	OUT3 出力ON
		②	OUT4 出力ON
4	15	①	OUT5 出力ON
		②	OUT6 出力ON
4	16	①	OUT7 出力ON
		②	OUT8 出力ON

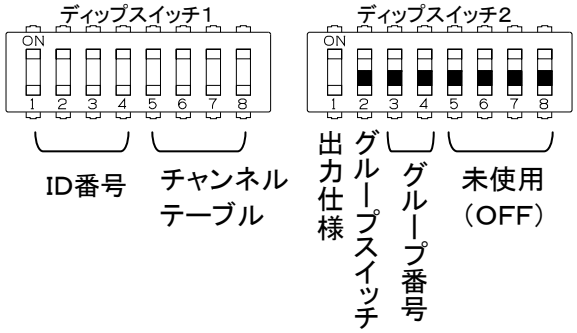
7－3－5.【2点式送信機RC－242T 8台】 対 【受信機RC－248R 1台】 ※ラッチ出力のみ



■ラッチ出力の場合
送信機Aの信号は、受信機OUT1に対応
（ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF）
送信機Bの信号は、受信機OUT2に対応
（ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF）
送信機Cの信号は、受信機OUT3に対応
（ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF）
送信機Dの信号は、受信機OUT4に対応
（ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF）
送信機Eの信号は、受信機OUT5に対応
（ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF）
送信機Fの信号は、受信機OUT6に対応
（ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF）
送信機Gの信号は、受信機OUT7に対応
（ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF）
送信機Hの信号は、受信機OUT8に対応
（ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF）







送信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	送信機 RC－242T
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	別表の受信機のグループに対応した 設定にして下さい
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定して下さい。 受信機と同じ設定にして下さい。
ディップスイッチ2	1	アンサーバック	ON:アンサーバックあり OFF:アンサーバックなし
	2～8	未使用	ALL OFFとして下さい。

受信機の設定

ディップスイッチ		設定項目	受信機 RC－248R
ディップスイッチ1	1～4	ID番号	未使用 設定は無効となります。
	5～8	チャンネルテーブル	1～16のいずれかに設定して下さい。 送信機と同じ設定にして下さい。
ディップスイッチ2	1	出力仕様	OFF （ラッチ出力）
	2	グループスイッチ	ON
	3	グループ番号	1、2のいずれかに設定して下さい。 ※グループ番号により受信できる 送信機のID番号が決定します。
	4		
	5～8	未使用	ALL OFF

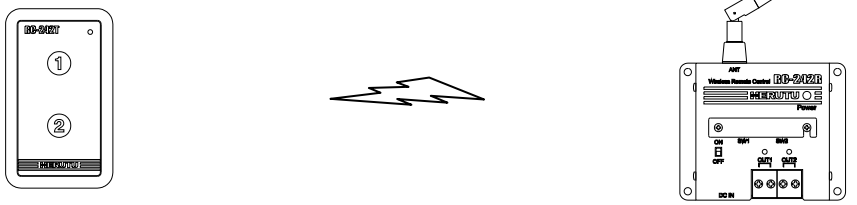
受信機のグループ番号に対応する出力と送信機のID番号

受信機の グループ番号	送信機 ID番号	送信機押しボタン	受信機RC－248R 出力
1	1	①	OUT1 出力ON
		②	OUT1 出力OFF
1	2	①	OUT2 出力ON
		②	OUT2 出力OFF
1	3	①	OUT3 出力ON
		②	OUT3 出力OFF
1	4	①	OUT4 出力ON
		②	OUT4 出力OFF
1	5	①	OUT5 出力ON
		②	OUT5 出力OFF
1	6	①	OUT6 出力ON
		②	OUT6 出力OFF
1	7	①	OUT7 出力ON
		②	OUT7 出力OFF
1	8	①	OUT8 出力ON
		②	OUT8 出力OFF
2	9	①	OUT1 出力ON
		②	OUT1 出力OFF
2	10	①	OUT2 出力ON
		②	OUT2 出力OFF
2	11	①	OUT3 出力ON
		②	OUT3 出力OFF
2	12	①	OUT4 出力ON
		②	OUT4 出力OFF
2	13	①	OUT5 出力ON
		②	OUT5 出力OFF
2	14	①	OUT6 出力ON
		②	OUT6 出力OFF
2	15	①	OUT7 出力ON
		②	OUT7 出力OFF
2	16	①	OUT8 出力ON
		②	OUT8 出力OFF

※出力仕様をラッチ出力で使用する場合には、グループ番号は“1”と“2”のみ使用します。“3”と“4”は未使用となります。

8. 動作

8－1.【2点式送信機RC－242T 1台】 対 【2点式受信機RC－242R 1台】



送信機の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	”ピッ”
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであればボタンを押している間、緑色LED点灯	

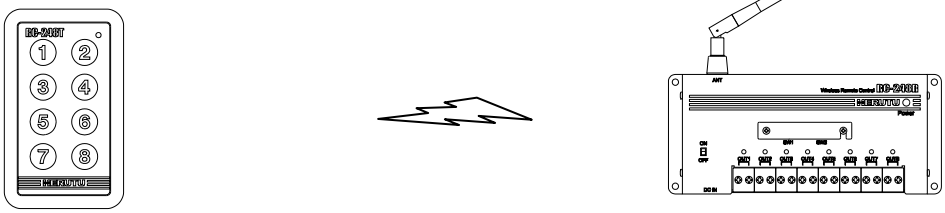
受信機 ラッチ出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
①ボタン押す	OUT1／OUT2出力ON（保持）	OUT1／OUT2LED（赤）点灯
②ボタン押す	OUT1／2出力OFF	OUT1／OUT2LED（赤）消灯

受信機 スルー出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
①ボタン押す	ボタンを押している間、OUT1出力ON	OUT1LED（赤）点灯
②ボタン押す	ボタンを押している間、OUT2出力ON	OUT2LED（赤）点灯

8－2.【8点式送信機RC－248T 1台】 対 【8点式受信機RC－248R 1台】



送信機の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	”ピッ” 1回
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであればボタンを押している間、緑色LED点灯	

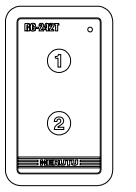
受信機 ラッチ出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
①ボタンを押す	OUT1／2出力ON（保持）	OUT1／OUT2 LED（赤）点灯
②ボタンを押す	OUT1／2出力OFF	OUT1／OUT2 LED（赤）消灯
③ボタンを押す	OUT3／4出力ON（保持）	OUT3／OUT4 LED（赤）点灯
④ボタンを押す	OUT3／4出力OFF	OUT3／OUT4 LED（赤）消灯
⑤ボタンを押す	OUT5／6出力ON（保持）	OUT5／OUT6 LED（赤）点灯
⑥ボタンを押す	OUT5／6出力OFF	OUT5／OUT6 LED（赤）消灯
⑦ボタンを押す	OUT7／8出力ON（保持）	OUT7／OUT8 LED（赤）点灯
⑧ボタンを押す	OUT7／8出力OFF	OUT7／OUT8 LED（赤）消灯

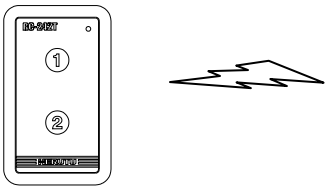
受信機 スルー出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
①ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT1出力ON	OUT1 LED（赤）点灯
②ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT2出力ON	OUT2 LED（赤）点灯
③ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT3出力ON	OUT3 LED（赤）点灯
④ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT4出力ON	OUT4 LED（赤）点灯
⑤ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT5出力ON	OUT5 LED（赤）点灯
⑥ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT6出力ON	OUT6 LED（赤）点灯
⑦ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT7出力ON	OUT7 LED（赤）点灯
⑧ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT8出力ON	OUT8 LED（赤）点灯

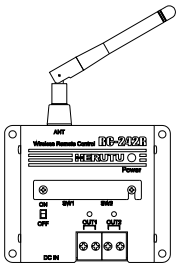
8－3.【2点式送信機RC－242T 2台】 対 【受信機RC－242R 1台】 ※ラッチ出力のみ



送信機A



送信機B



送信機Aの信号は、受信機OUT1に対応
（ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF）

送信機Bの信号は、受信機OUT2に対応
（ボタン1で出力ON、ボタン2で出力OFF）

送信機の動作

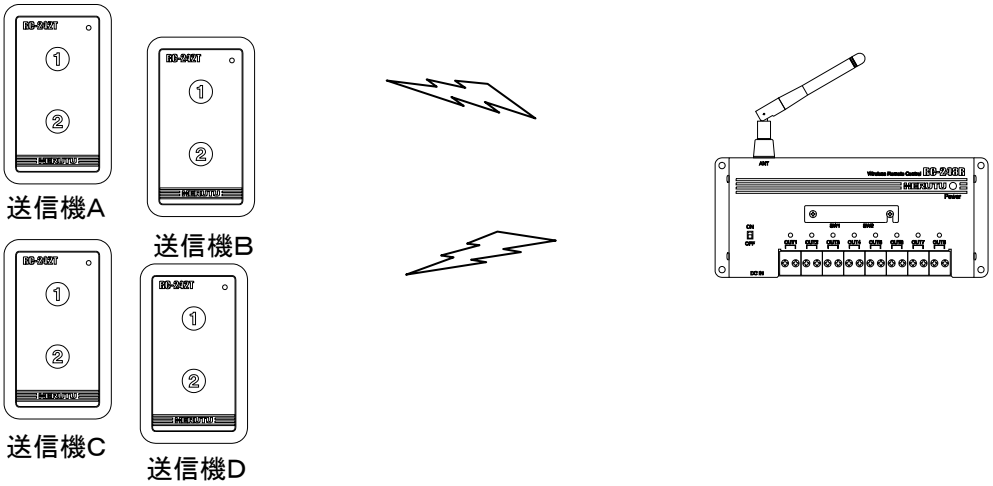
動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	”ピッ” 1回
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであればボタンを押している間、緑色LED点灯	

受信機 ラッチ出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
送信機A ①ボタンを押す	OUT1出力ON（保持）	OUT1 LED（赤）点灯
送信機A ②ボタンを押す	OUT1出力OFF	OUT1 LED（赤）消灯
送信機B ①ボタンを押す	OUT2出力ON（保持）	OUT2 LED（赤）点灯
送信機B ②ボタンを押す	OUT2出力OFF	OUT2 LED（赤）消灯

※送信機N台 対 受信機1台で使用する場合、複数の送信機のボタンを同時に押すと混信のため、受信機は正常に動作しません。複数の送信機を同時に操作しないようにして下さい。

8－4.【2点式送信機RC－242T 4台】 対 【受信機RC－248R 1台】



送信機の動作

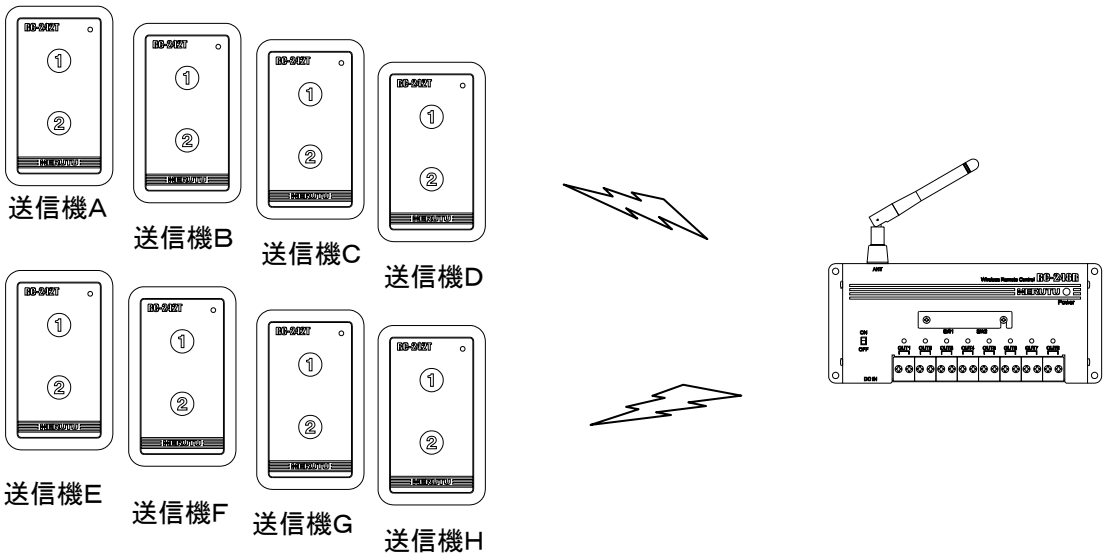
動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	”ピッ” 1回
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであればボタンを押している間、緑色LED点灯	

受信機 スルー出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
送信機A ①ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT1出力ON	OUT1 LED（赤）点灯
送信機A ②ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT2出力ON	OUT2 LED（赤）点灯
送信機B ①ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT3出力ON	OUT3 LED（赤）点灯
送信機B ②ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT4出力ON	OUT4 LED（赤）点灯
送信機C ①ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT5出力ON	OUT5 LED（赤）点灯
送信機C ②ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT6出力ON	OUT6 LED（赤）点灯
送信機D ①ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT7出力ON	OUT7 LED（赤）点灯
送信機D ②ボタンを押す	ボタンを押している間、OUT8出力ON	OUT8 LED（赤）点灯

※ラッチ仕様については次項をお読みください。
※送信機N台 対 受信機1台で使用する場合、複数の送信機のボタンを同時に押すと混信のため、受信機は正常に動作しません。複数の送信機を同時に操作しないようにして下さい。

8－5.【2点式送信機RC－242T 8台】 対 【受信機RC－248R 1台】 ※ラッチ出力のみ



送信機の動作

動作	送信機動作	
	送信機LED	送信機ブザー
任意のボタンを押す	ボタンを押した時、赤色LED1回点灯	”ピッ” 1回
	アンサーバックON時は上記赤色LED点灯後、通信OKであればボタンを押している間、緑色LED点灯	

受信機 ラッチ出力設定時の動作

動作	受信機動作	
	リレー出力	LED
送信機A ①ボタンを押す	OUT1出力ON（保持）	OUT1 LED（赤）点灯
送信機A ②ボタンを押す	OUT1出力OFF	OUT1 LED（赤）消灯
送信機B ①ボタンを押す	OUT2出力ON（保持）	OUT2 LED（赤）点灯
送信機B ②ボタンを押す	OUT2出力OFF	OUT2 LED（赤）消灯
送信機C ①ボタンを押す	OUT3出力ON（保持）	OUT3 LED（赤）点灯
送信機C ②ボタンを押す	OUT3出力OFF	OUT3 LED（赤）消灯
送信機D ①ボタンを押す	OUT4出力ON（保持）	OUT4 LED（赤）点灯
送信機D ②ボタンを押す	OUT4出力OFF	OUT4 LED（赤）消灯
送信機E ①ボタンを押す	OUT5出力ON（保持）	OUT5 LED（赤）点灯
送信機E ②ボタンを押す	OUT5出力OFF	OUT5 LED（赤）消灯
送信機F ①ボタンを押す	OUT6出力ON（保持）	OUT6 LED（赤）点灯
送信機F ②ボタンを押す	OUT6出力OFF	OUT6 LED（赤）消灯
送信機G ①ボタンを押す	OUT7出力ON（保持）	OUT7 LED（赤）点灯
送信機G ②ボタンを押す	OUT7出力OFF	OUT7 LED（赤）消灯
送信機H ①ボタンを押す	OUT8出力ON（保持）	OUT8 LED（赤）点灯
送信機H ②ボタンを押す	OUT8出力OFF	OUT8 LED（赤）消灯

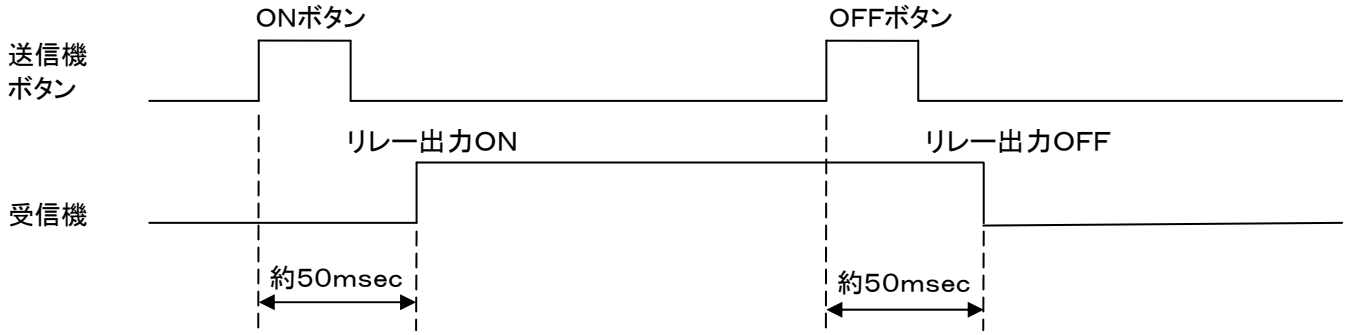
※送信機N台 対 受信機1台で使用する場合、複数の送信機のボタンを同時に押すと混信のため、受信機は正常に動作しません。複数の送信機を同時に操作しないようにして下さい。

9. ご利用上の注意

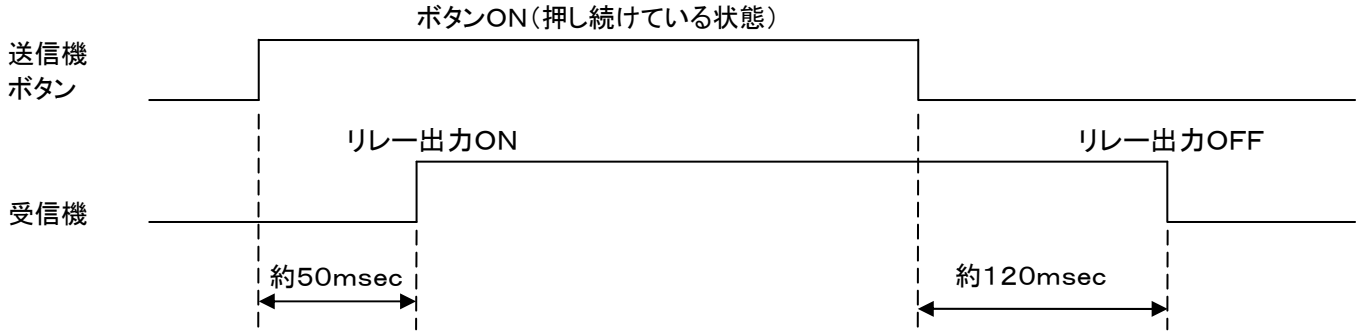
◆通信レスポンス

送信機のボタンが押されてから受信機のリレー出力がON／OFFするのに通信環境が良好な場所でも下記遅延時間が発生します。また、通信環境が悪く通信エラーが頻発するような場所では下記遅延時間に限らず発生しますので、ご了解の上ご利用下さい。

（ラッチ出力の場合）



（スルー出力の場合）



◆長期間使用しない場合は、送信機から乾電池を取り外して保管して下さい。

◆本製品を同一エリアで複数使用する場合は、受信機同士、送信機同士又は送信機と受信機は少なくとも50cm以上離して設置して下さい。

◆通信距離

本製品の通信距離は屋内約20m、屋外50m程度が目安となりますが、設定方法（ラッチ出力／スルー出力、アンサーバックあり／なし）により通信距離が異なりますのでご理解の上、ご利用下さい。

スルー仕様でご利用いただく場合、通信環境や通信距離により受信機からの出力が瞬間的にOFFすることがあります。また、同一エアリアで複数セットを同時に使用するとチャンネルテーブルを異なる設定にしている場合でも、受信機からの出力は瞬間的にOFFすることがあります。本製品の特性をご理解いただき、接続機器側で保持をしていただく等の対策をしてご利用下さい。

10. 仕様

共通仕様

項目	仕様
適合規格	2．4GHz小電力データ通信システム 証明規則第2条第1項第19号の無線設備 無線設備規則第49条の20第1項
電波形式	F1D
使用周波数	2，403MHz～2，478MHz
チャンネル数	64CH
変調方式	GFSK
通信方式	単信方式
空中線電力	2．1mW

2点式送信機 RC－242T

項目	仕様
入力	押しボタン×2点
出力	ブザー出力（押しボタン動作確認用）
スイッチ	8連ディップスイッチ×2個
表示	LED 1点（赤色／緑色）
電源	単4形アルカリ乾電池×2本
使用温湿度範囲	温度 0～50℃ 湿度 35～80%以下（結露なきこと）
外形寸法	69W×115D×20Hmm
重量	約120g（電池含む，専用カバー含まず）
アンテナ	内蔵アンテナ
電池寿命 （アルカリ乾電池使用時）	アンサーバックなし設定時 ボタン連続押しで約120時間程度 （1回1秒の押下で約30万回） アンサーバックあり設定時 〃 約50時間程度 （1回1秒の押下で約15万回）

2点式受信機 RC－242R

項目	仕様
出力	接点出力×2点（端子台 M3） 接点構造／構成 MOS－FET／1a 最大定格負荷電圧 AC／DC 30V 最大定格負荷電流 0．5A
表示	リレー出力用LED（赤色）×2点 電源用LED（赤色）×1点
電源	DC24V±20%（DC19～28V） ※付属のACアダプタ使用によりAC100～240V入力で利用できます。
消費電流	50mA以下（DC24V）
使用温湿度範囲	温度 0～50℃ 湿度 35～80%以下（結露なきこと）
外形寸法	103W×85H×26Dmm （突起物は除く）
重量	約250g（アンテナ含む、ACアダプター含まず）
アンテナ	ダイポールアンテナ×1本
スイッチ	電源スイッチ×1点 設定用8連ディップスイッチ×2個

※アンテナの型式は「GRF1398」です。

8点式送信機 RC－248T

項目	仕様
入力	押しボタン×8点
出力	ブザー出力（押しボタン動作確認用）
スイッチ	8連ディップスイッチ×2個
表示	LED 1点（赤色／緑色）
電源	単4形アルカリ乾電池×2本
使用温湿度範囲	温度 0～50℃ 湿度 35～80%以下（結露なきこと）
外形寸法	69W×115D×20Hmm
重量	約120g（電池含む，専用カバー含まず）
アンテナ	内蔵アンテナ
電池寿命 （アルカリ乾電池使用時）	アンサーバックなし設定時 ボタン連続押しで約120時間程度 （1回1秒の押下で約21万回） アンサーバックあり設定時 〃 約50時間程度 （1回1秒の押下で約9万回）

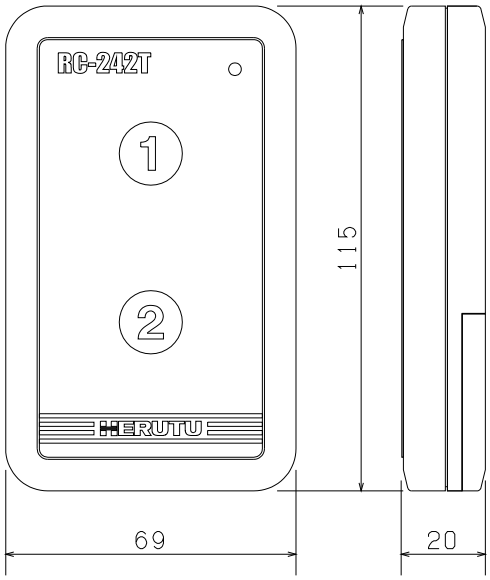
8点式受信機 RC－248R

項目	仕様
出力	接点出力×8点（端子台 M3） 接点構造／構成 MOS－FET／1a 最大定格負荷電圧 AC／DC 30V 最大定格負荷電流 0．5A
表示	リレー出力用LED（赤色）×8点 電源用LED（赤色）×1点
電源	DC24V±20%（DC19～28V） ※付属のACアダプタ使用によりAC100～240V入力で利用できます。
消費電流	100mA以下（DC24V）
使用温湿度範囲	温度 0～50℃ 湿度 35～80%以下（結露なきこと）
外形寸法	195W×85H×26Dmm （突起物は除く）
重量	約450g（アンテナ含む、ACアダプター含まず）
アンテナ	ダイポールアンテナ×1本
スイッチ	電源スイッチ×1点 設定用8連ディップスイッチ×2個

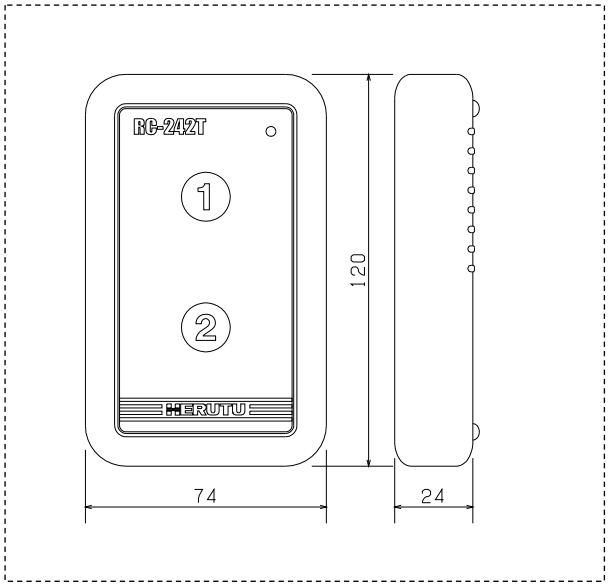
※アンテナの型式は「GRF1398」です。

11. 寸法図

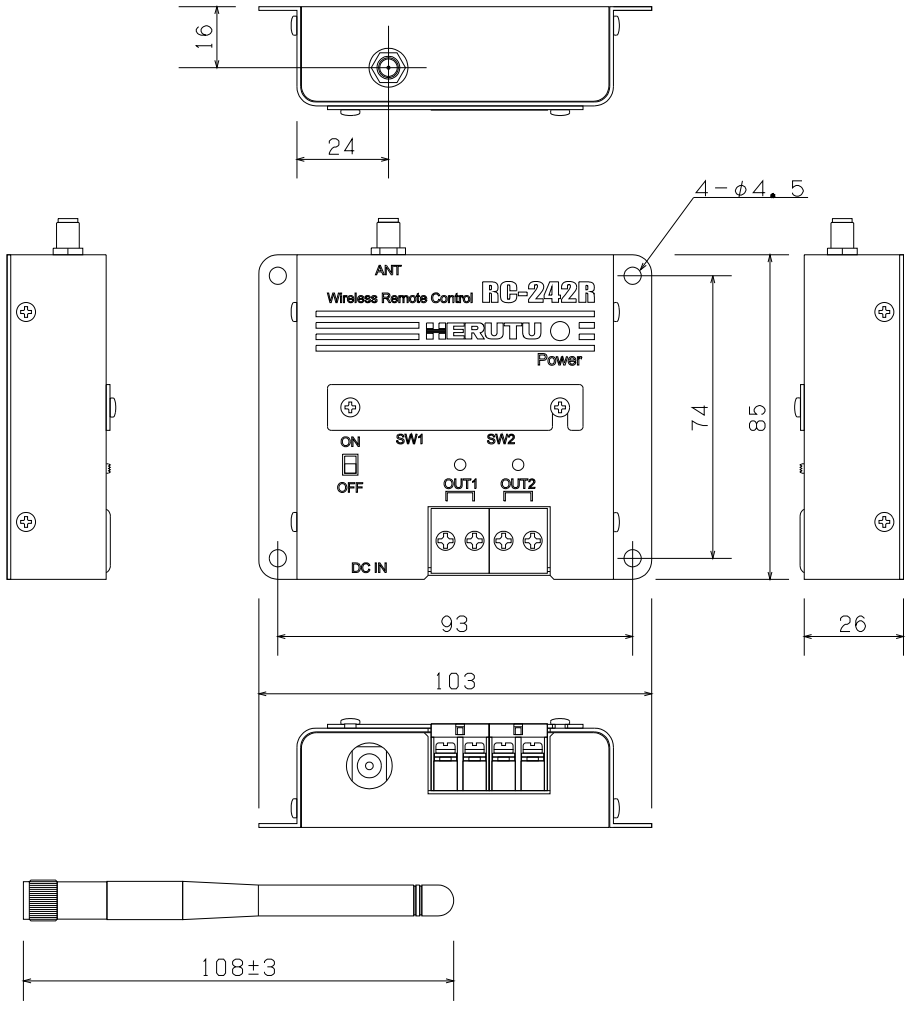
●2点式送信機 RC－242T



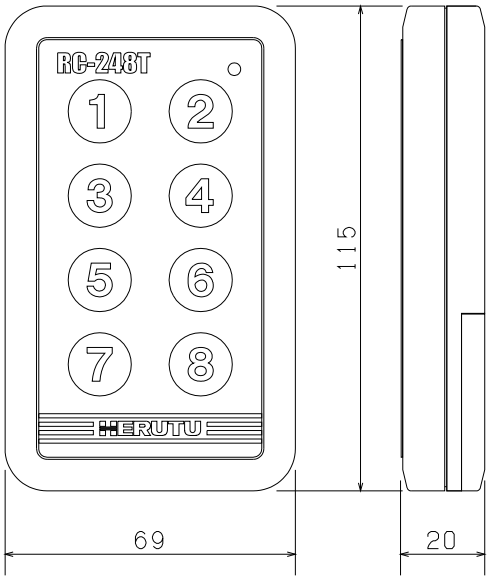
専用カバー装着時



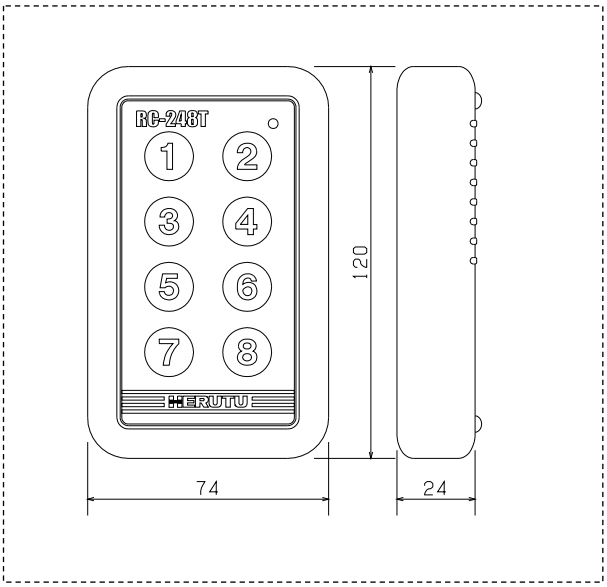
●2点式受信機 RC－242R



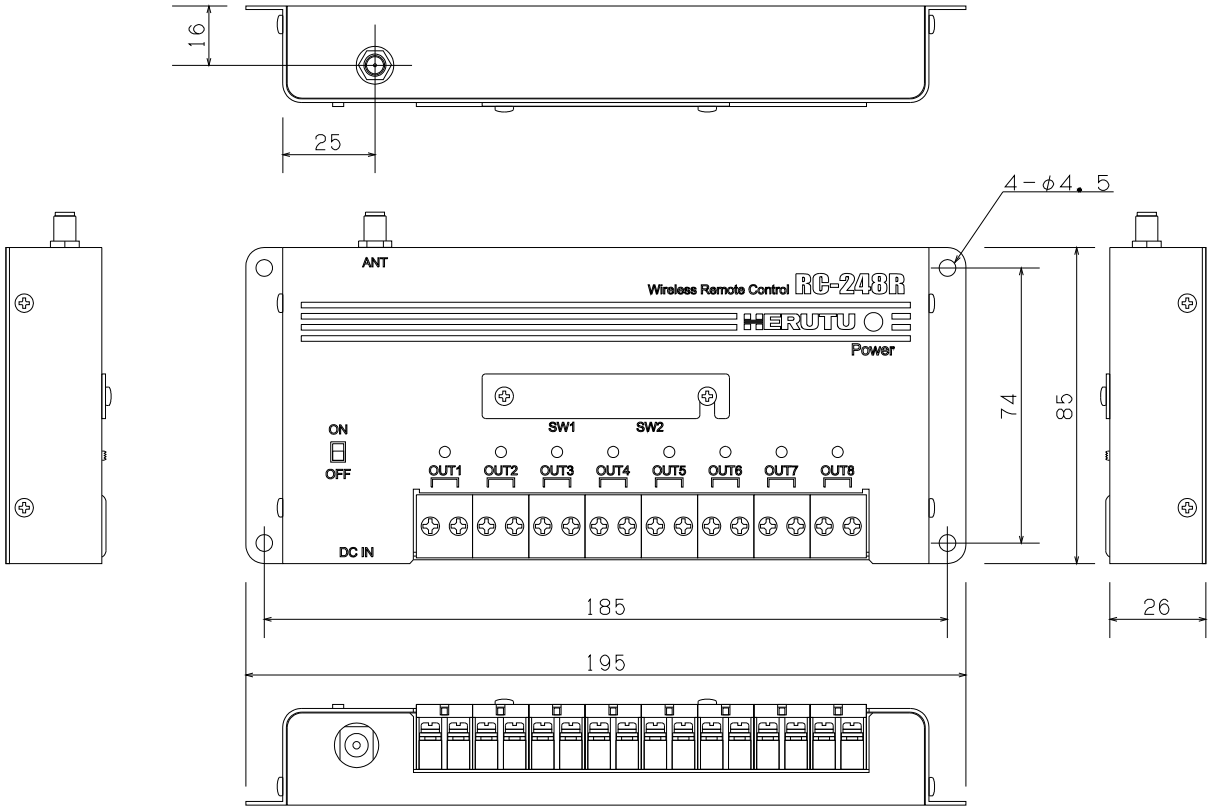
●8点式送信機 RC－248T

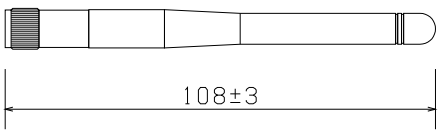


専用カバー装着時



●8点式受信機 RC－248R





12. 故障と思う前に

現 象	原因と対策
送信しない （LED（赤色又は緑色）が点かない）	電池容量がなくなっている。
	→新しい単4形アルカリ乾電池に取り換えてください。2本とも新しい電池にして下さい。
送信すると赤色LEDが2回点滅する	電池容量が少なくなっている
	→新しい単4形アルカリ乾電池に取り換えてください。2本とも新しい電池にして下さい。
送信機の押しボタンを押しても受信機が反応しない	受信機の電源がはいっていない。
	→通信する受信機の電源が入っていることを確認してください。
	通信距離が遠すぎる。
	→本機の通信可能距離を超えています。送信機と受信機が通信できる距離に設置して下さい。
	受信機のアンテナ設置状態が良くない。
	→受信機のアンテナが電波を遮る障害物に囲まれていたり、制御盤（鉄製）の中に設置されていないか確認し、アンテナの設置状態を改善してください。また、外部アンテナのご利用をご検討下さい。「6. 受信機の設置」をご確認下さい。
	外的要因で通信ができない。
	→本機と同じ周波数帯（2．4GHz帯）の製品が使用されていることにより通信できないことがあります。ご使用の製品情報と共に弊社営業部までご相談下さい。
	送信機と受信機の設定が合っていない。
	→「7. 設定」をご確認下さい。
受信機のPOWER LEDが点灯しない。	受信機の電源がはいっていない。
	→通信する受信機の電源が入っていることを確認してください。
受信機のOUT LEDが点灯しない。	送信機と受信機の設定が合っていない。
	→「7. 設定」をご確認下さい。
受信機のOUT LEDは点灯するが、接続した機器が動作しない。	受信機リレー出力の定格外の機器を接続している。
	→「10. 仕様」の受信機出力仕様をご確認下さい。

13. 保証とアフターサービス

正常な状態でご使用中に、万一機器の異常が確認されたときには、下記内容をご確認の上、お買い上げの販売代理店、または弊社営業部までお問い合わせ下さい。

製品名・製造番号・使用環境
接続している外部機器
異常発生までの処理手順
具体的な発生内容など

〔保証規定〕

本規定はお買い上げになられた製品を安心してご利用いただけるよう出荷後の保証について弊社が定めたものです。弊社製品が故障した場合は、この規定に基づき修理・交換いたします。

■保証期間

保証期間は他に定めのない限り弊社からの製品出荷後13ヵ月となります。保証期間内は、保証規定の定めにより弊社にて無償修理致します。保証期間中の修理やアフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業部までご相談下さい。

■保証範囲

上記範囲内に当社の責任による故障が発生した場合は、無償での代替品との交換または修理をさせていただきますので、お買い上げの販売店、または弊社営業部にお申し出下さい。なお、代替品との交換または修理を行った場合の保証期間は対象製品の当初出荷日から13ヵ月又は代替品出荷から6ヵ月のいずれか遅く訪れる日までとします。また保証範囲は、本製品のハードウェアに限らせていただきます。

保証期間内においても以下の各号に該当する場合には保証の対象外とさせていただきます。

1. お客様による輸送・移動時の落下、衝撃等、お客様のお取扱いが適正でないために生じた故障・損傷の場合。
2. お客様による本体の分解や改造による故障の場合。
3. 火災・地震・水害等の天災地変および異常電圧による故障・損傷の場合。
4. 本製品に接続している当社指定機器以外の機器の故障に起因する故障の場合。
5. 本体以外の付属品(AC アダプター,アンテナ,接続ケーブル等)は含みません。
6. 弊社以外で修理・調整・改良した場合。
7. 消耗品や寿命品（バッテリー含む）の交換の場合。
   消耗品・寿命品には下記のものが含まれます。
   ①各種スイッチ類（リミットスイッチ，押しボタンスイッチ等）
   ②電池・バッテリー（乾電池、ボタン電池等） ③その他使用により消耗・寿命があるもの
8. 本取扱説明書に記載された使用方法及び注意事項に反するお取扱いによって生じた故障の場合。

■初期不良について

製品出荷日より起算し30日以内を製品初期不良期間とします。期間内にお買い上げの販売店、または弊社営業部にご送付いただき、製品確認後、初期不良とみなされた場合は新品交換または修理対応を無償にて行います。

初期不良の場合、送料は弊社にて負担させていただきます。但し、日本国内の送料に限らせていただきます。

日本国外でご購入及びお買い上げいただいた場合の海外輸送費・保険料・関税等の掛かる費用については別途協議の上、決定することとします。

■免責事項

本製品の故障や障害、その使用によって生じた直接的・間接的な損害、金銭的損失については一切の責任を負いません。

■有償修理対応期間

予備部品の在庫が弊社にある場合に限り、保証期間終了後であっても本製品に対し、生産中止後5年間は有償にて修理対応致します。但し、使用部品の廃止等やむを得ない理由により代替部品の使用又は代替機により対応させていただくことがあります。

■その他

●保証期間に関係なく、修理は調整等測定機器類の必要上、弊社への持ち込み修理を原則とし、持ち込み時に発生する送料等はお客様の負担とさせていただきます。なお、出張修理を行う場合、または保証期間中に代替機が必要な場合は、有償にて承りますのでお買い上げの販売店または弊社営業部までご相談下さい。

●修理受付後、弊社技術部門において障害の再現できない場合は、交換・修理を致しかねる場合があります。また、障害の再現をするための技術調査費用を別途請求する場合があります。

●弊社WEBSITE上及び弊社が提供しているカタログ、マニュアル又は技術資料、その他の資料に記載されている本製品の情報は、お客様にお断りなく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

（メモ）

ヘ ル ツ 電 子 株式会社
HERUTU ELECTRONICS CORPORATION

〒433-8103　静岡県浜松市北区豊岡町６２－１
（営業部）TEL. 053- 438－3555　FAX. 053- 438－3411
ホームページ　http://www.herutu.co.jp　E-mail　webmaster@herutu.co.jp